

2014年度の事業報告書  
2014年7月1日から2015年6月30日まで

特定非営利活動法人ドネーションシップわかちあい

1 事業の成果

▼生命と自立を支える事業：

○子どもの貧困が社会問題化するなかでしんどい状況の母子たちに寄り添い行動する「大阪子どもの貧困アクショングループ（CPAO）」に50万円、世界で一番貧しい国の一つといわれるバングラディッシュの村で地道な教育支援を続ける「バングラディッシュの村を良くする会（PUS）」に50万円、合計100万円の「わかちあい」（寄付）を実施した。

○寄付先団体の活動や情報をサイトや通信で紹介し、有志が講演やイベントに参加、支援情報を発信するなど継続的な寄付先団体との関係構築に努めた。

○ひまわりプロジェクトを通じてご縁のあった「乙訓ひまわりフェスタ」にブース参加した。

○第5回チャリティーライブ&バザー「わかちあい祭り」を開催。子どもの貧困、被災地の展示。避難者ブース提供。寄付先団体の支援品等を販売。山王こどもセンター、被災地NGO協働センター、ミンダナオ子ども図書館、シャロームから直接参加。ネパール地震支援募金を含め収益と募金は全額寄付した。

▼情報などの事業：ウェブサイト運営をつうじて情報交換や会員交流を促進し、わかちあいに共感する人のつながりを築いた。通信・メルマガの発行とともに事務局ブログを通してドネの活動や寄付先の現場からの情報を発信した。

▼全体として：設立から8年余の寄付の総額は15,816,814円になった。

庶民の気持ちを集めれば、大きな支援ができることを積み上げることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
情報などの交流を促進する事業	相互扶助と信頼を基調にした情報発信、交流促進を図るウェブサイトの運営。メルマガ（月1回）、通信（年2回）の発行。会員ページ（SNS）の運営。寄付先団体の活動紹介、イベント、支援の呼びかけ等を発信。	通年	法人事務所等	15人	不特定多数
生命と自立を支える事業	乙訓ひまわり園のフェスタに参加 被災地・避難者支援ブースを出展	2014, 11.8	京都府向日市の会場	5人	向日市の地域の方々。 被災地・避難者の団体
	ドネ・プロジェクト、2団体に合計100万円を寄付。大阪子どもの貧困アクショングループ、バングラディッシュの村を良くする会に各50万円。	2014 12.17	法人事務所	5人	貧困に追いやられている大阪の母子たち、バングラディッシュの村の子どもたち。
	チャリティーライブ&バザー 第5回「わかちあい祭り」を開催 収益と募金188,171円を全額寄付。 （避難ママグループ、山王こどもセンター、ネパール地震救援・CODE）	2015 5.3	京都市役所前 地下街「ゼスト御池」	25人	イベント来場者。 大阪・山王こどもセンター、福島から京都への避難者。 ネパール地震の被災者